

関係者各位

プランクトン検鏡結果のお知らせ

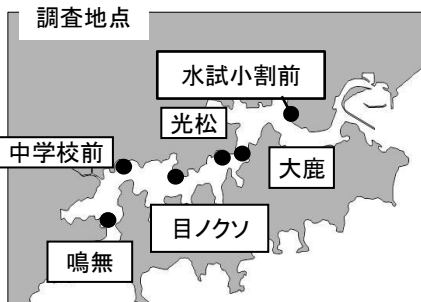
本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で12 cells/mL確認されました。また、シャットネラ属が最高で71 cells/mL確認され、鳴無では漁業被害が想定される細胞密度に達していましたので、十分に注意してください。海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/mL)

	水深	水温(°C)	塩分	溶存酸素量(mg/L)	カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属
中学校前	5m	28.0	30.1	2.4	1	0
	10m	26.9	30.1	0.6	0	0
目ノクソ	2m	30.5	29.6	10.6	2	4
	5m	28.4	30.2	4.4	12	0
光松	2m	30.6	29.7	9.8	0	1
	5m	28.7	30.4	5.4	2	1
大鹿	2m	30.5	29.8	10.3	0	0
	5m	29.2	30.5	6.1	4	0
水試小割前	2m	30.7	29.8	8.5	0	0
	5m	29.5	30.8	6.8	0	0
鳴無	5m	27.8	29.9	0.9	0	71
	8m	27.3	30.0	0.4	0	1



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ： 数百～数千cells/mL以上（魚類等のへい死）
- ・シャットネラ属： 10～100cells/mL以上（魚類へい死）